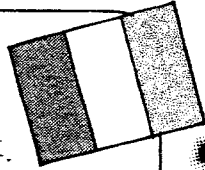


# フランス

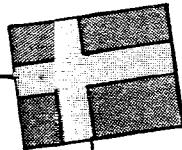


パリ等いくつかの都市では、上・下水道の他に雨水を利用する中水道が古くから用いられています。この水は公園等のスプリンクラーや道路の清掃・トイレ等に使われています。日本でも最近ではビルで中水道の概念が採用され雨水を有効利用されているところも出てきました。

地球温暖化は、全世界の共通の問題です。日本でも脱炭素社会に貢献する製品への買換えサービスの利用等温暖化防止の日常を推奨していますが、世界各国でもさまざまな対策が講じられています。私達の生活の中でも取り入れられることは見習いみんなの力で地球を守っていきましょう。

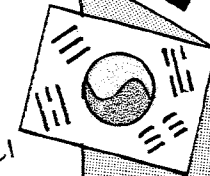
# 世界のエコロジ事情

## スウェーデン



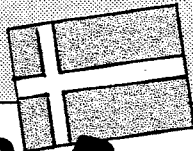
環境問題において大変敏感な国で、エコカーの導入に積極的に取り組んでいます。エコカーの利用者を増やすために利用者は減税されたり、駐車料金が無料になったりなどの待遇があります。日本でもエコカーを取得する時は税金が軽減されています。

## 韓国



一般の食堂では割り箸、プラスチックの容器・フキンなどの使い捨てられる物の使用を禁止しています。また、スリヤやデパートのレジ袋ホテルの使い捨て歯ブラシやカミソリの無料提供を禁止し、ムダのない生活を呼びかけています。日本でもレジ袋の有料化でエコバック持参の買物が中心になってきました。

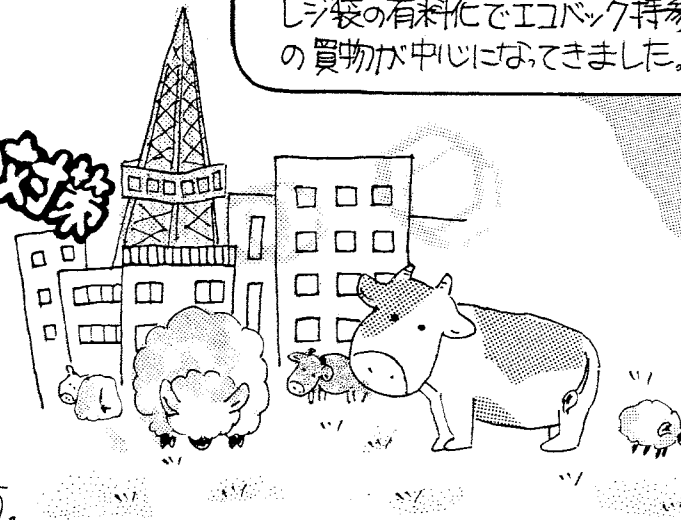
## デンマーク



使い捨ての紙コップや皿には、使い捨て税という税金が上乗せされ販売されています。また、ペットボトル缶のリサイクル、ビン再利用を推奨しています。飲み物を購入する時は容器代を払い、飲み終わったら返却しお金も返金されるというデポジット制を取り入れ環境に悪い行いにはお金がかかるという社会をつくっています。徐々にいろいろな国にも広まりつつあります。

## ちよちよもろい対策 エコな草取り

都会の公園や公共施設に牛、羊などを放牧して草を食べさせる事で草取りをする方法がスイスをはじめとし日本でも試験的に行われているようです。



## シンガポール

国内の車両数増加を規制するために車両割当制度が導入されています。毎年政府が道路の整備状況や廃車数を勘案し新規の登録数を決めます。車を所有するには入札で権利を得なければなりません。徹底した車両数管理により渋滞も緩和され環境も一定に保たれる対策です。